

# 令和4年度三重県沿岸種資源評価 バカガイ



## 資源水準・動向

低位・減少

## 生物情報

- ・ 内湾の砂泥底に潜って植物プランクトンなどを食べる。
- ・ 最小成熟殻長は2.5cm、産卵は春～秋。
- ・ 満1歳で殻長4cm以上に達する。
- ・ 貧酸素や波浪、低塩分などの環境変化に弱く、資源量の年変動が大きい。

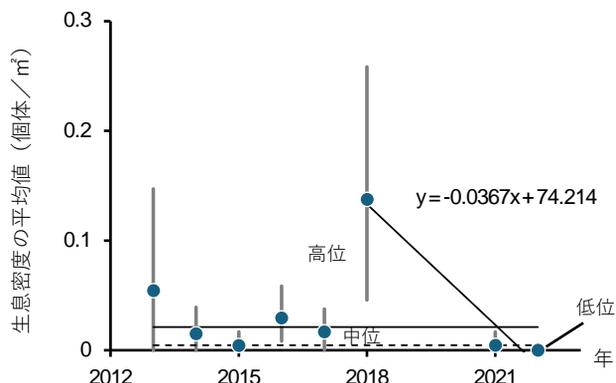
## 漁業の特徴

- ・ 伊勢湾内の水深3～10m程度の漁場で、小型底びき網によって漁獲される。漁獲主体は1～2歳。
- ・ 漁獲盛期は4～6月であることが多いが、漁期は年によって大きく変化する。
- ・ 繁殖力が強く、条件が良ければ資源は急激に回復する。2019、2020年には伊勢市で豊漁となった。
- ・ 直近年は津市白塚地区での漁獲が多い。
- ・ アサリやハマグリに比べて操業の優先順位は低い。



## 資源状態

- ・ 三重県水産研究所が2013～2022年(2019、2020年は欠測)に松阪地区で採泥器を用いて調査したバカガイの生息密度を整理した。
- ・ 11月の殻長20mmより大きい個体の生息密度から資源水準は「低位」とした。
- ・ 同生息密度の直近5年間の推移から資源動向は「減少」とした。



## 資源管理の取組

- ・ 漁獲量制限

## 将来考えられる資源管理の取組

- ・ 操業自粛区域の設定、漁獲量制限の強化